

スムーズ双対の幾何的構造と局所ラングランズ対応

A.-M. Aubert, P. Baum,
R. Plymen and M. Solleveld

Abstract

この概説論文では、はじめに p 進体、 p 進簡約群と局所ラングランズ対応についての基本的な内容を復習する。 p 進簡約群 G のスムーズ双対とは、 G の既約スムーズ表現の同形類全体の集合である。 係数体は複素数体である。 スムーズ双対は、ベルンシュタイン成分とよばれる部分集合に標準的に分割される。 ABPS (オーベール-バウム-プリメン-ソレフェルト) 予想によればそれぞれのベルンシュタイン成分は適切に拡張された商によって幾何的な構造をもつ。 本論文ではこの ABPS 予想を定式化し、その予想を支持する根拠および局所ラングランズ予想とのつながりを解説する。